

1 当該学年・学期等における探究課題 《人のために》

2 単元名 『幼稚園と交流しよう』 (全15時間=実施時期:10月~12月)

3 単元のねらい *本単元で特に身に付けさせたいと考えている資質・能力と、それを身に付けさせるための仕掛け(主な素材・活動等)を明確に

幼稚園生のために、自分たちにできることを考え、計画し、実行することができる。 友達と協力したり、自分事として考え意見を言ったり改善したりすることができる。	自分の役割を責任をもって最後まで果たすことができる。 他者のために行動し、その姿を見て達成感を得ることができる。
--	---

4 主な活動とふるさと井原の「もの」「ひと」「しごと(こと)」との出逢い・関わりの仕掛け、引き出したい子どもの姿

		課題設定	情報収集	整理・分析	まとめ・表現
主な活動		普段の自分たちの休み時間を振り返り、幼稚園との交流が少ないことに気付く。幼稚園との交流を計画する。	幼稚園の先生や幼稚園生から情報収集する。交流会の計画・準備をする。	自分たちが立てた計画が実践できるか、試行錯誤する。	幼稚園との交流会をする。
引き出したい姿	いばら愛 (郷土愛と当事者性)	自分たちの友達とのかかわりを客観的に振り返ることができる。	休み時間に幼稚園生と実際に遊んでみたり、幼稚園の先生に質問したりして、よりよい会にしていけることができる。		自分の役割を責任をもって果たす。
	やり抜く力 (忍耐と向上心)			計画したことを試したり、見直したりして、よりよくするために意見を出し合い、改善することができる。	予定通りにいなくてもその場で考え、行動し、最後までやり切ることができる。
	まき込む力 (発信と協働)		幼稚園生が楽しんだり理解したりできるかという相手意識をもって計画することができる。	試して気づいたことを相手に伝えることができる。	困ったときは、友達と相談し、協力してやり切る。
仕掛け・工夫	もの		計画書を作るためにタブレットで入力する。	計画したものを実際に試し、改善したことを記録に残すためにタブレットを活用する。	
	ひと		幼稚園生ができる遊びか確認するために幼稚園の先生に尋ねる。司書の先生に関連する本をお願いをする。	新たに生まれた疑問を幼稚園の先生に確認する。	交流会で幼稚園生を楽しませたり、喜ばせたりする。
	しごと(こと)				
アウトプットの工夫		<ul style="list-style-type: none"> 交流会の計画や準備の時に生まれた疑問を解決するために、質問したり試したりする。 自分たちで試行し、改善する時間を設け、自分の考えを伝える場を作る。 			

5 他教科・領域、学校行事等との関連

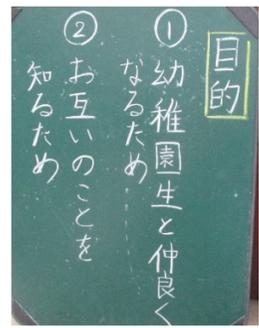
国語科「みんなで楽しく過ごすために」

6 他学年、他校(園)種、外部団体との連携・接続・交流

野上幼稚園

野上小学校・5・6年 単元名『幼稚園と交流しよう』の流れ（探究過程）と活動の実際 担当【永井 達弥】

◆単元のねらい「幼稚園生のために、自分たちができることを考え、計画し、実行することができる。自分の役割を責任をもって最後まで果たすことができる。友達と協力したり、自分事として考え意見を言ったり改善したりすることができる。他者のために行動し、その姿を見て達成感を得ることができる。」



◆成果（○）・課題（△）・来年度に向けて（☆）

- 自分にできることを考えて行動する力や自分の役割を果たす力が身についた。
- 試し、意見を出し、改善していくという学習方法が少しずつ児童だけの力でできるようになってきた。
- △「ひと」「しごと」に関わる場が少なかった。
- ☆この経験の学びを生かす場の確保。